

國際聯盟會館  
懸賞設計圖案決定

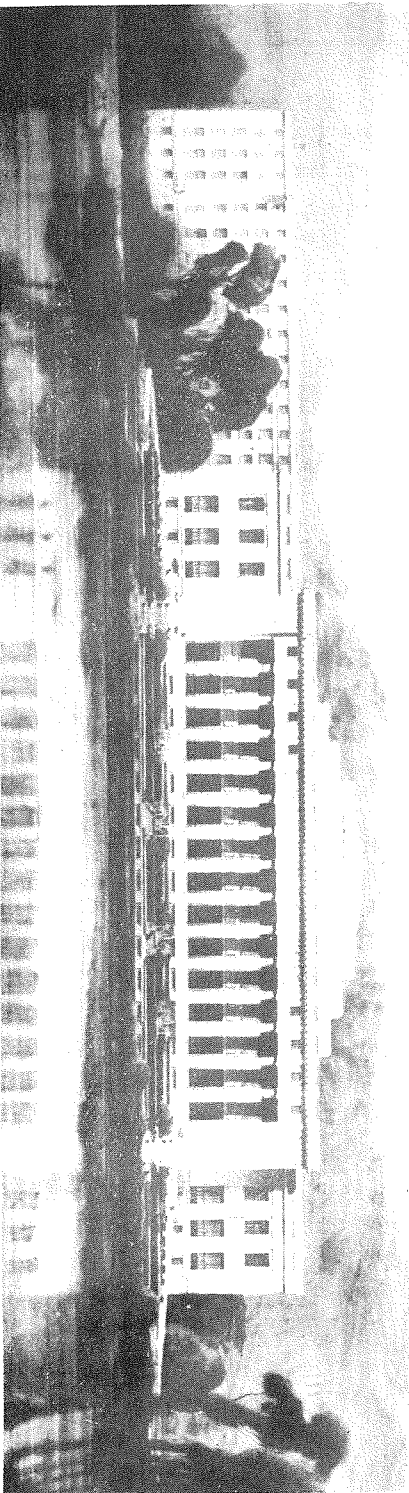
スキスのゼネバに於ける國際聯盟事務局では一昨年七月同聯盟會館の建築設計を廣く全世界の聯盟加入國の建築家に對し懸賞募集したが、應募375の圖案の内大半は募集規程に合せず、漸く其中から九種を選んで再審査中のごころ最後の委員會(安達大使委員長)に於て昨

年十二月二十二日全會一致の意見を以て佛人ネノー氏の案を基礎として採用するに決した。

此の結果ネノー氏をして委員會が指名せるイタリー、スキス、ハンガリー三國の技師各一名宛に本年一月五日からゼネバに會合せしめ、三月一日迄に共同新案を委員長に提出せしめ、其を審査の上にて工事に着

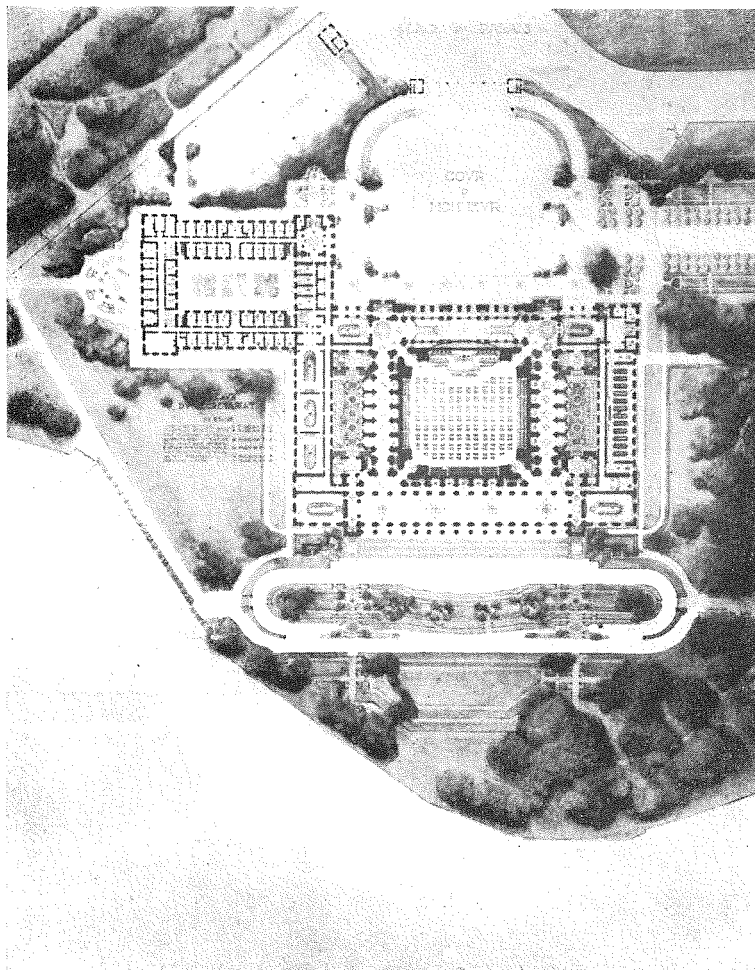
手するに決した。

此のネノー氏案は佛人アンリー、ポールネノー氏とスキス人フレージェン、ハイヤー氏の合作で假審査に於いて1萬2千スキスフランを以つて當選した圖案9個の中の一である。ネノー氏は1887年ローマ賞を得現在のロンエテ、デ、ガルチスト、フランセー會長である。



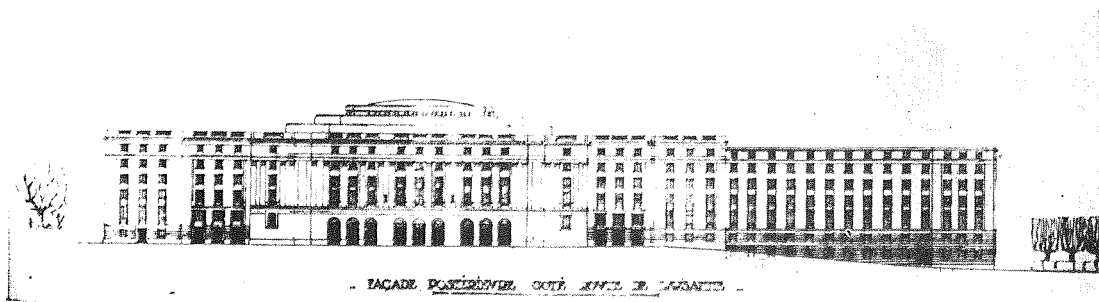
(1) 國際聯盟會館ネノー氏(佛人 NENOT)設計圖案 正面圖

(1) The prize winner, Mr. Nenot's design of The International League of Nations Main Building to be erected in Geneva. This is a front view.



(2) 同上平面圖

(2) Same of plan view.



(3) 同上側面圖

(3) Same from the side.